

井土浦地区の取り組み

ー 井土浦地区のいままで ー

- ①津波により砂浜が消失してしまったため、砂浜が戻るのを観察してきました。
- ②震災前とくらべて約100m程度砂浜の汀線^{ていせん}が後退したものの安定した砂浜となったことを確認して堤防復旧工事を実施しています。



※汀線＝海面と陸地の境界線



震災直後（2011年3月13日）



震災4年8ヶ月（2015年11月11日）

井土浦地区の工事状況



鋼矢板を約1.2キロ設置 (H27.12.7撮影)



松を保全して工事する状況 (H27.12.7撮影)



セメント、水を砂に混ぜて地盤改良 (H27.12.7撮影)

①砂浜幅が狭くなったところで工事をするために消波ブロックや仮の堤防の代わりとなる鋼矢板で締め切りをして高波の影響がないように堤防の工事をしていきます。

②井土浦北側の堤防復旧中の区間では、津波で生き残った松を守りながら狭い場所で工事をしています。

③井土浦では、砂浜回復により柔らかい地盤となっているため地盤改良をして、堤防をしっかりとせるための工事を行っています。

※矢板＝土砂の崩壊や水の浸入を防ぐために地盤に打ち込む板